

Market Watching

発表日: 2019年7月16日(火)

利下げ織り込み、逆に手がかかり難(マーケットウィークリー)

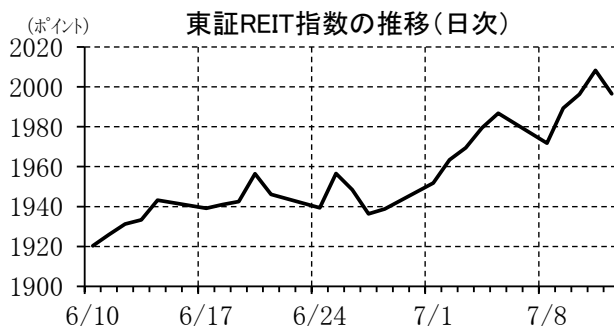
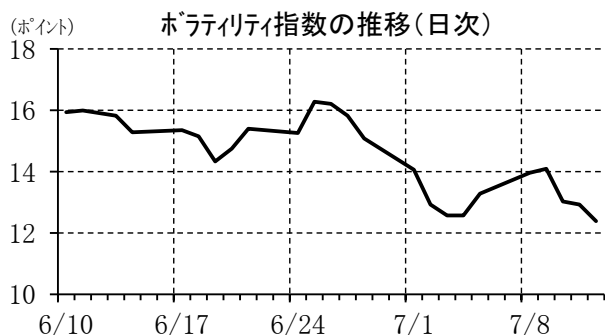
～経済指標下ぶれなら動意づく可能性もあるが～

第一生命経済研究所 調査研究本部 経済調査部
取締役・首席エコノミスト 嶋峰 義清 (TEL: 03-5221-4521)

【先週の市場動向】

先週の経済指標・金融政策

発表日	経済指標・会合	結果	コンセンサス	前回	備考
7月8日(月)	日本: 国際収支統計(5月)・経常収支	+15,948	+13,809	+17,074	億円、原数値
	日本: 景気ウォッチャー調査(6月)・先行き判断DI	45.8	44.5	45.6	
	日本: 機械受注統計(5月)・船電除く民需	▲7.0%	▲3.7%	+5.2%	前年比
7月9日(火)	日本: 毎月勤労統計(5月)・現金給与総額	▲0.2%	▲0.6%	▲0.1%	前年比
	マレーシア: 金融政策委員会	3.00%	3.00%	3.00%	翌日物政策金利
7月10日(水)	日本: 企業物価指数(6月)	▲0.5%	▲0.1%	▲0.1%	前月比
	中国: 消費者物価指数(6月)	+2.7%	+2.7%	+2.7%	前年比
	カナダ: 金融政策委員会	1.75%	1.75%	1.75%	翌日物貸出金利
7月11日(木)	米国: 消費者物価指数(6月)・総合	+1.6%	+1.6%	+1.8%	前年比
	・コア	+2.1%	+2.0%	+2.0%	前年比
7月12日(金)	中国: 貿易統計(6月)・輸出	▲1.3%	▲0.5%	+1.1%	前年比
	・輸入	▲7.3%	▲3.0%	▲8.5%	前年比
	ユーロ: 鉱工業生産(5月)	+0.9%	+0.2%	▲0.5%	前月比
7月13日(土)	—				
7月14日(日)	—				



主要市場の動向

	直近値	変化			移動平均値		
		1週前比	1月前比	1年前比	25日	75日	200日
10年債利回り							
米国	2.122	+8.8	▲3.2	▲73.9	1.816	2.094	2.434
日本	-0.120	+4.0	+0.0	▲16.0	-0.143	-0.087	-0.012
ドイツ	-0.210	+15.3	+2.6	▲56.7	-0.302	-0.138	0.101
豪州	1.438	+15.6	+1.2	▲119.1	1.345	1.604	2.073
株価							
NYダウ	27332.03	+1.5	+5.1	+9.7	26601	26205	25415
日経平均	21685.90	▲0.3	+2.6	▲2.3	21379	21516	21399
ユーロSTOXX50	3497.63	▲0.9	+3.3	+1.5	3463	3431	3273
上海総合	2930.55	▲2.7	+0.7	+3.3	2954	3009	2810
為替相場							
ドル/円	107.90	▲0.5	▲0.6	▲4.1	108.12	109.74	110.77
ユーロ/円	121.61	▲0.2	▲0.7	▲7.4	122.02	123.31	125.45
豪ドル/円	75.76	+0.1	+0.7	▲9.1	75.20	76.82	78.57
ユーロ/ドル	1.127	+0.4	▲0.2	▲3.4	1.129	1.124	1.132
商品市況							
WTI	60.21	+4.7	+17.7	▲14.4	56.52	59.77	57.53
金	1412.2	+0.9	+6.0	+13.3	1385	1321	1288

(注) 10年債利回りの変化は金利差 (bp)。その他は変化率 (%)

為替相場の変化は、ドル/円、ユーロ/円、豪ドル/円は+が円安、▲が円高。

ユーロ/ドルは+がユーロ高、▲がユーロ安。

先週 (7/8~7/13) の金融市場は、特に大きな材料はないなかで、株式市場は4~6月期の企業の決算動向を睨みながら個別中心に方向感のない推移となった。パウエルFRB議長の議会証言では、7月末に行われる次回FOMCでの利下げが示唆されたものの、利下げ幅の拡大や加速を示唆するような内容ではなく、コアベースの米消費者物価の伸びが予想を小幅ながら上回ったこともあり、金利は前週末を上回って越週した。

今週のマーケットは、引き続き方向感に欠ける展開が続こう。米国では小売売上高が発表されるほか、NYやフィラデルフィアの製造業景況指数から、足元までの景気の減速度合いなどを測る形になる。ページブックも発表されるが、次回利下げを織り込んだマーケットにとっては、前述した経済指標が下ぶれるなどして▲50bpの利下げを期待するようなことでもない限り、とくに市場を大きく動かすようなものとはならない見込み。日本では、日曜日に参院選が行われて即日開票となるが、こちらも市場に影響を及ぼすような結果は想定されていない。

【今週のマーケット環境】

今週の経済指標・金融政策

発表日	経済指標・会合	注目度	コンセンサス	前回	備考
7月15日(月)	中国：実質GDP（4-6月）	★★★	+6.2%	+6.4%	前年比
	中国：鉱工業生産（6月）	★★	+5.3%	+5.0%	前年比
	中国：小売売上高（6月）	★★★	+8.5%	+8.6%	前年比
	中国：固定資産投資（6月）	★★	+5.6%	+5.6%	年初来前年比
	米国：NY連銀製造業景気指数（7月）	★	+2.0	▲9.0	ポイント
7月16日(火)	日本：貿易統計（6月）・輸出	★★	▲5.4%	▲7.8%	前年比
	・輸入		▲0.2%	▲1.5%	前年比
	・貿易収支		+4,060	▲9,683	億円
	米国：小売売上高（6月）・全体	★★★	+0.2%	+0.5%	前月比
・除自動車	★★	+0.3%	+0.5%	前月比	
米国：鉱工業生産指数（6月）	★★	+0.2%	+0.4%	前月比	
7月17日(水)	米国：住宅着工件数（6月）	★	126.0	126.9	万件
7月18日(木)	インドネシア：金融政策決定会合	★	5.75%	6.00%	7日物リバースレボ金利
	米国：フィッシャー連銀製造業景況感指数（7月）	★	+5.0	+0.3	ポイント
	南ア：金融政策委員会	★	6.50%	6.75%	平均レボレート
7月19日(金)	日本：全国消費者物価指数（6月）・総合		+0.7%	+0.7%	前年比
	・除生鮮食品	★	+0.6%	+0.8%	前年比
	米国：ミシガン大学消費者信頼感指数（7月速報値）	★	98.4	98.2	ポイント
7月20日(土)	—				
7月21日(日)	—				

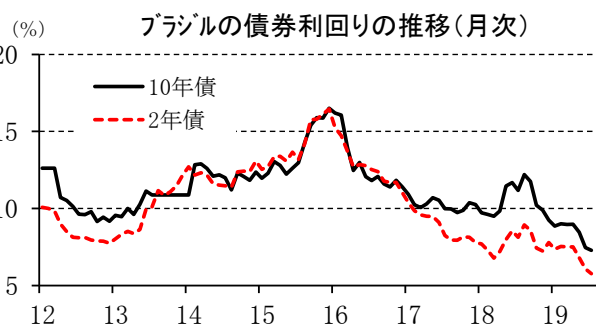
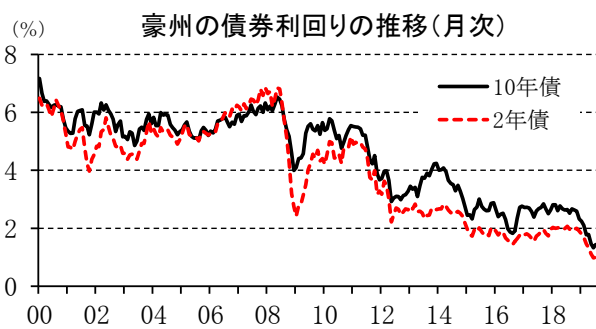
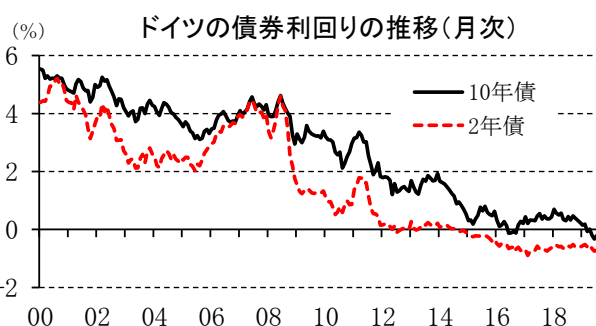
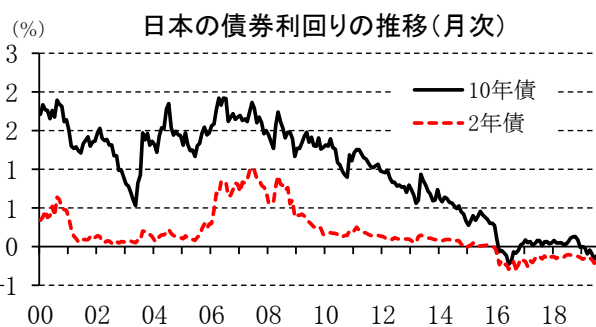
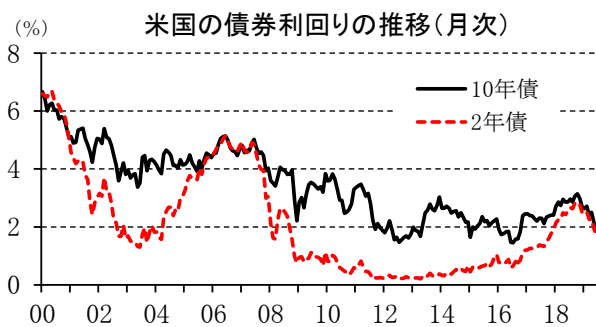
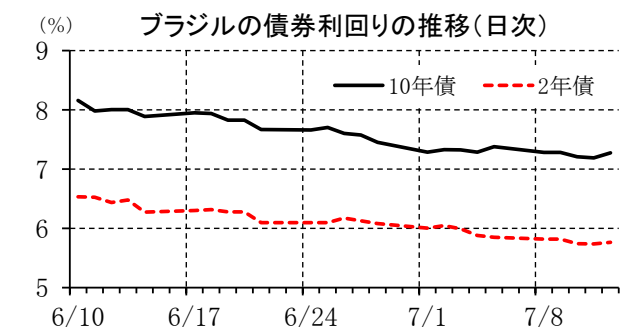
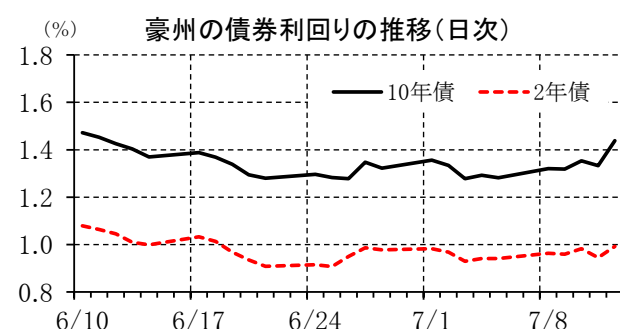
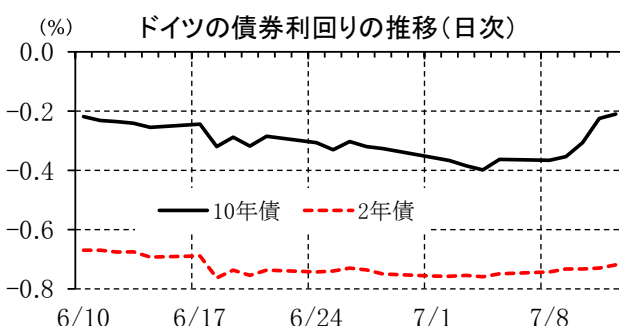
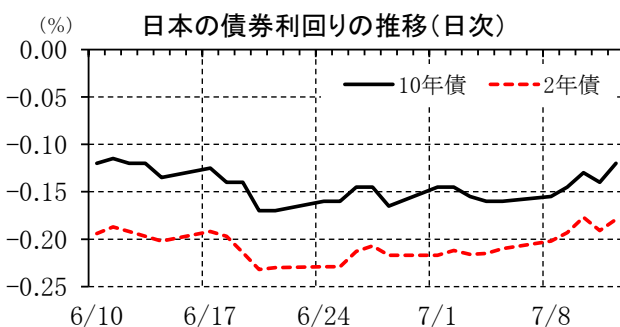
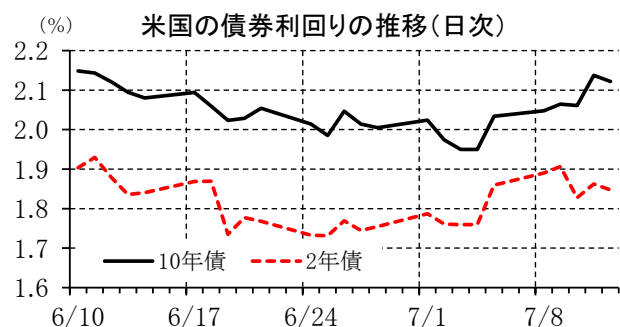
(注) 市場コンセンサスは各種ベンダー調査に基づく。注目度は筆者。

その他の注目イベント・材料

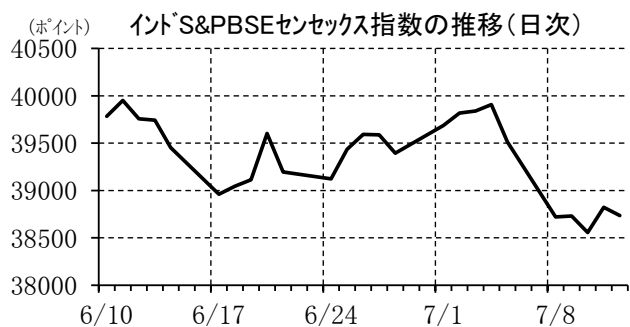
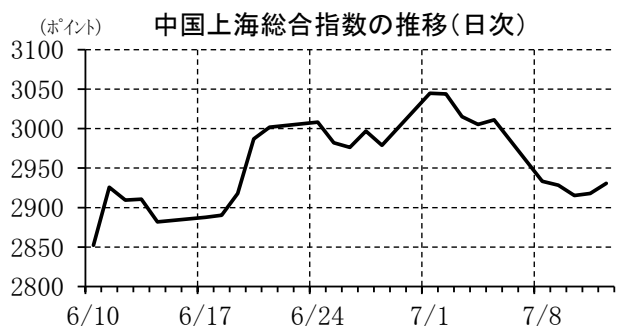
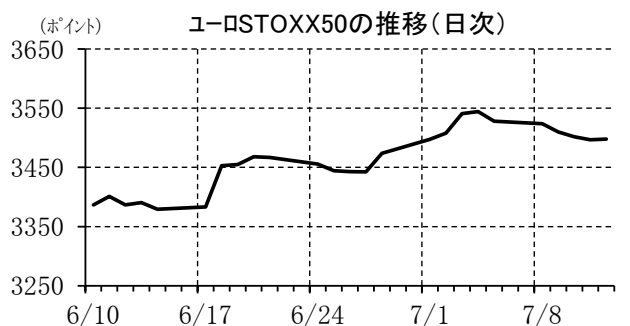
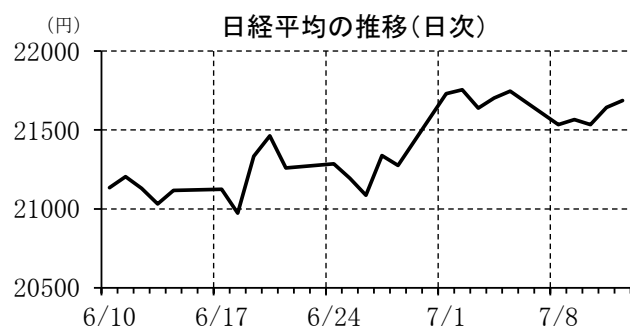
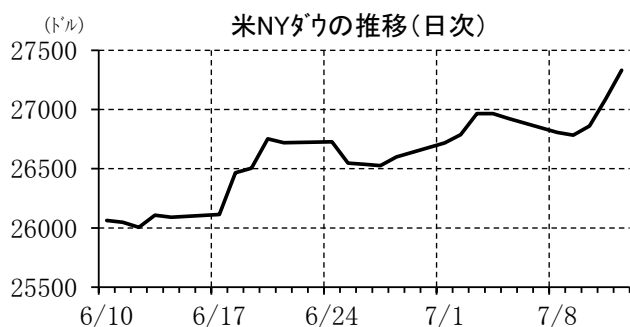
発表日	イベント	注目度	備考
7月15日(月)	—		
7月16日(火)	日本：日銀金融政策決定会合議事公表（09/1-6）		
	EU：欧州委員会委員長承認投票	★	
	英国：保守党党首選TV討論会	★★★	
	英国：カーネーBOE総裁講演	★	
7月17日(水)	G7：財務相・中銀総裁会合（～7/18）	★★★	
	米国：ペーシェンバック	★★★	
7月18日(木)	米国：NY連銀総裁講演	★	
7月19日(金)	—		
7月20日(土)	—		
7月21日(日)	日本：参議院議員選挙	★★	

(注) 各種報道等による。注目度は筆者。

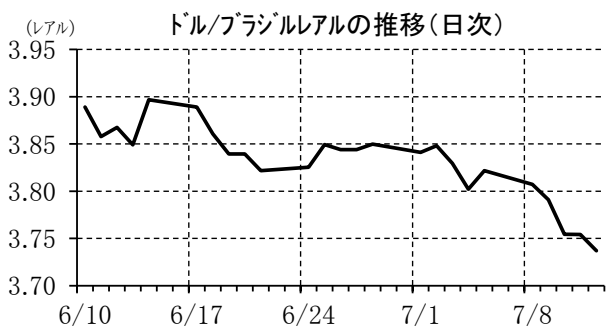
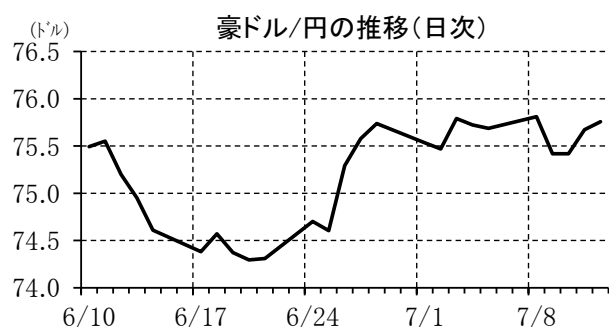
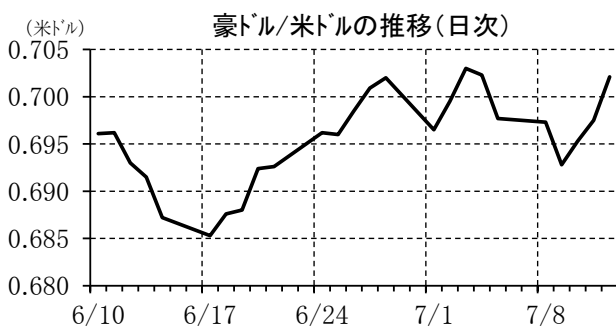
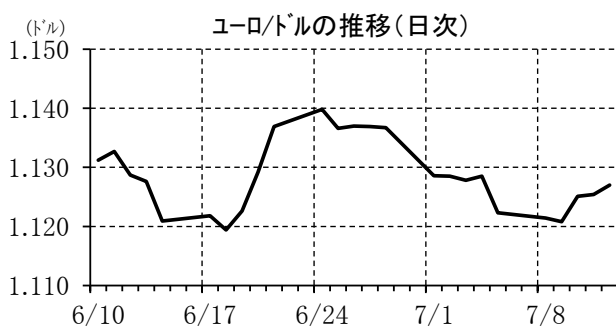
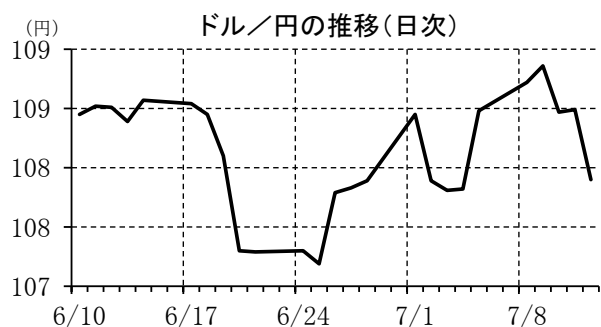
【債券利回り】



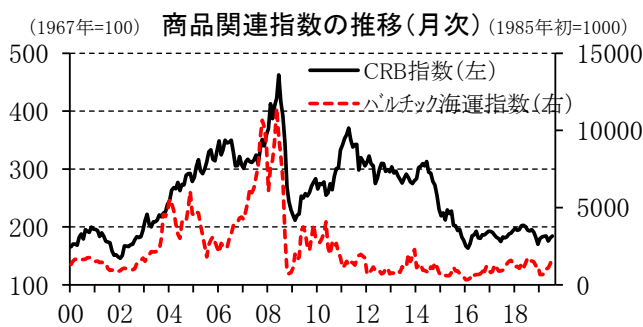
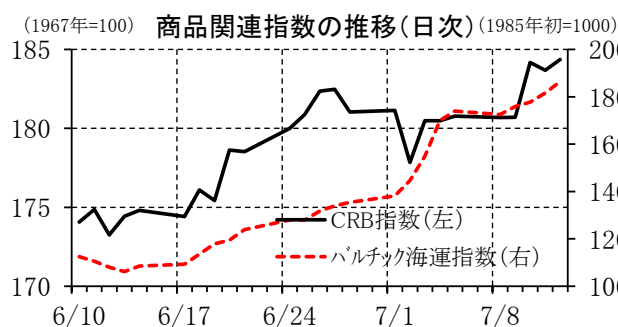
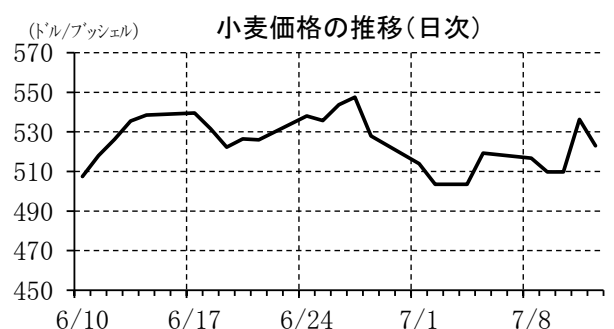
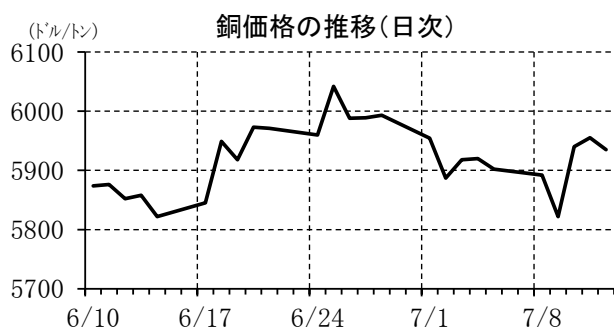
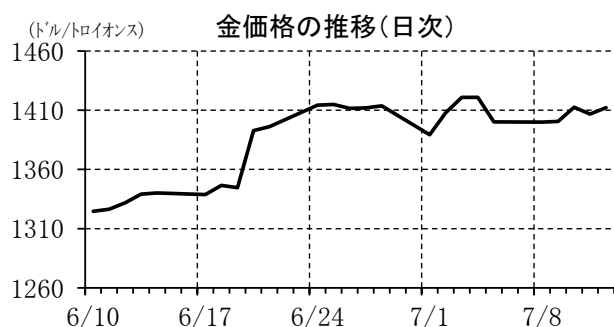
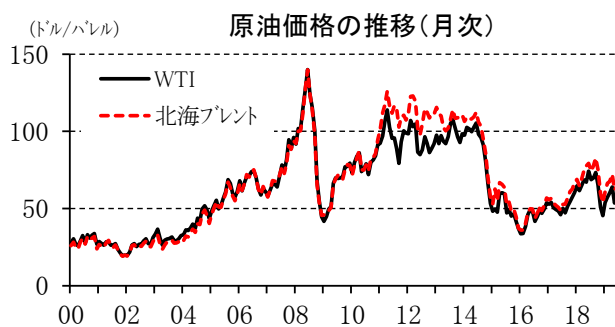
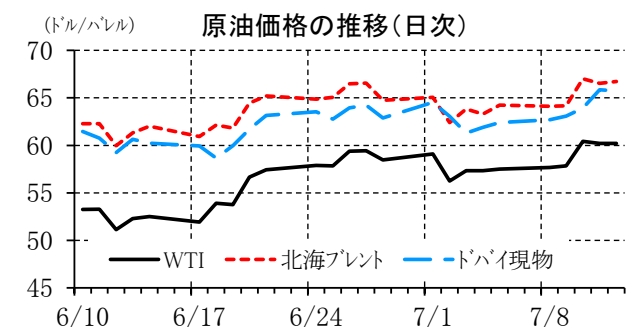
【株価指数】



【為替相場】



【商品市況】



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所調査研究本部経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。